

## CONTENTS

CHAPTER 1	マツダについて	
	トップメッセージ	05
	成長の軌跡	11
	At a Glance	13
CHAPTER 2	価値創造	
	価値創造プロセス	17
	価値創造のために大切なこと	19
	中期経営計画	21
	役員インタビュー   研究開発戦略とサステナビリティ	29
	役員インタビュー   マツダが取り組むカーボンニュートラル	33
	財務ハイライト	37
	11か年主要財務データ	39
CHAPTER 3	ESG	
	役員インタビュー   マツダのサステナビリティへの取り組み	43
	サステナビリティ基本方針	46
	重点課題(マテリアリティ)	47
	2050年カーボンニュートラルに向けての取り組み	49
	TCFDへの対応	51
	人的資本強化の取り組み	53
	「安全・安心なクルマ社会」の実現に向けての取り組み	55
	コーポレートガバナンス	57
	社外取締役インタビュー	63
	ESGデータ	67
	会社概況	70

## [ 統合報告書制作の目的 ]

株主・投資家をはじめとする幅広いステークホルダーの皆さまを対象に、価値創造プロセスや財務・非財務情報を統合的に用いて、マツダグループの中長期的な価値創造をお伝えすることを目的としています。

## [ 編集方針 ]

「マツダ統合報告書2022」は、当社の目指す姿や、価値創造プロセス、カーボンニュートラル実現に向けた取り組み、サステナビリティの取り組みなどについてステークホルダーの皆さまへお伝えするために発行しています。ステークホルダーの皆さまとの対話に資するコミュニケーションツールとして、進化させてまいります。

## [ 参考にしたガイドライン ]

国際会計基準(IFRS) 財団傘下の、SASB(サステナビリティ会計基準審議会) スタンダード、国際統合報告評議会(IIRC) 国際統合報告フレームワーク、経済産業省「価値協創ガイダンス」など。

## [ 報告期間 ]

2021年4月から2022年3月を中心に報告(一部、2022年4月以降の活動も報告しています)。

## [ 対象組織 ]

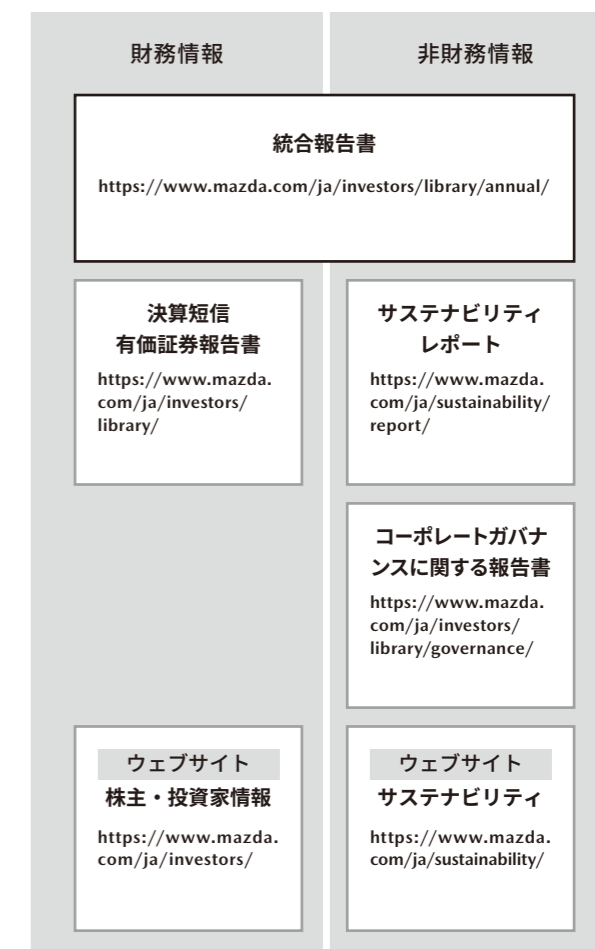
マツダ株式会社およびグループ会社を含むマツダグループ全体について報告(マツダグループ全体を対象にしている場合は、個々に対象範囲を記載)。

## [ 発行時期 ]

日本語版：2022年12月、英語版：2023年1月予定

## [ 統合報告書の位置づけ ]

以下の媒体で情報開示を行っています。



## 免責事項

本報告書の記述には、マツダ株式会社および、そのグループ会社の過去の事実から、将来の事業環境に関する予測、事業に関する計画などさまざまな情報を記載しています。これらの掲載事項は、記述した時点で入手できた情報に基づいたものであり、将来、諸与件の変化によって異なったものとなる可能性があります。読者の皆さまには、以上をご了解いただきますようお願い申し上げます。